

中国経済経営学会

2021 年度全国大会（Web 開催）プログラム

大会概要

開催日：2021 年 10 月 16 日（土）～17 日（日）

実行委員：丸川知雄（東京大学・委員長）、羅歆鎮（東京経済大学）、

中川涼司（立命館大学）、竇劔久俊（関西学院大学）、原田忠直（日本福祉大学）

連絡先（e-mail）：jacem202110@gmail.com

★ 今回も会議システムとしてZoomを使用します。参加される方は、事前にZoomを御装備下さい（無料版にて可能です）。セッションごとに接続用URLを設定し、開催日が近づきましたらURL一覧を会員宛にメールにてお知らせ致します。

★ Zoom HP <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

共通論題（シンポジウム）開催のお知らせ

「中国の都市化の諸問題」（中国城镇化面临的挑战）

日時：2021 年 10 月 16 日（土）午後 13:00～16:00

司会：丸川知雄（東京大学）

講演 1：陸銘（上海交通大学）「中国の都市化が直面する問題と当面の改革（中国城镇化存在的问题及当前的改革）」（日本語通訳：穆堯芊・新潟県立大学）

講演 2：岡本信広（大東文化大学）「中国の都市化の進展と課題」

講演 3：李蓮花（東京経済大学）「『人の都市化』、社会保障と格差」

討論：梶谷懐（神戸大学）

<趣旨説明>

2014 年に定められた中国の「国家新型都市化計画（2014-2020 年）」では 2020 年の都市（城鎮）の常住人口を人口全体の 60%前後とすることを目標としていたが、2020 年の人口センサスによると、都市人口の比率は 64%で、目標を上回る勢いで都市化が進んでいることが

明らかになった。一方で、上記計画では2020年の戸籍人口の都市化率を45%前後とすることを目標にしていたが、人口センサスでの戸籍人口の都市化率は45.4%にとどまった。つまり、農業戸籍のまま都市に居住する人が総人口の約19%（2億6000万人）、上記計画で指摘されていた「都市内での新たな二元社会の矛盾」がますます激化している可能性がある。Okamoto(2017)の言葉を借りれば、空間的都市化が加速的に進む一方、制度的都市化がそれに追いつかない。また、「鬼城」や「小産権房」に代表される都市化の歪み、戸籍地と常住地の分離が社会保障制度に与える影響など、多くの問題が浮かび上がっている。本セッションでは、都市化全般の評価、土地問題、社会保障システムという角度から中国の都市化が直面する問題を明らかにする。

【御注意】 共通論題への御参加は事前登録制とします（上限500名程度）。

- ① Zoomウェビナーの登録先を、9月25日頃までに会員宛メールでお知らせしますので、そちらからご登録ください。
- ② 10月7日以降は登録先を本会HP上に公開し、非会員の参加登録も受け付けることとしますので、会員の皆様はお早めにご登録ください。

日程一覧

10月16日（土）

午前	10:00~12:00	理事会
午後	13:00~16:00	共通論題
	16:00~17:00	会員総会
	17:00~20:00	分科会 1

10月17日（日）

午前	9:00~11:30	自由論題 1、分科会 2
午後	14:00~17:00	自由論題 2、分科会 3

分科会・自由論題プログラム

2021年10月16日（土）午後 17:00～20:00

分科会1：人工知能産業の発展：日中比較【使用言語：中国語】

会议主持：雷鸣（南开大学经济研究所）

报告者

刘刚（南开大学经济研究所）

全面融合发展中的中国人工智能科技产业

刘刚（南开大学经济研究所）、张新蔚（南开大学经济研究所）

数据要素与人工智能产业发展

雷鸣（南开大学经济研究所）、闫浩（山西财经大学）

日本人工智能产业现状与未来展望

讨论者

刘德强（京都大学）

李春利（爱知大学）

吴晓林（法政大学）

2021年10月17日（日）午前 9:00～11:30

分科会2：中国の食糧輸入の急拡大とその影響

司会：大島一二（桃山学院大学）

発表者：大島一二（桃山学院大学）

「中国における農産物輸入の急拡大と農業政策への影響」

野崎由紀子（三井物産戦略研究所）

「中国の穀物輸入拡大が世界にもたらすもの」

高橋五郎（愛知大学）

「中国の食料自給率低下とその背景と今後」

討論者：山田七絵（アジア経済研究所）

原田忠直（日本福祉大学）

2021年10月17日（日）午前 9:00～11:30

自由論題1：中国の経済成長・対外援助・企業経営

司会：苑志佳（立正大学）

発表者1：Li Ruiyang（立命館大学大学院経済学研究科・院生）

「産業連関分析による中国の地域成長に関する一考察」

討論者：岡本信広（大東文化大学）

発表者2：楊鵬超（立命館大学大学院国際関係研究科・院生）

「中国の対カンボジア援助とその特徴」

討論者：大橋英夫（専修大学）

発表者3：楊華夏（鹿児島国際大学・院生）

“Impact of Value Perceptions on Attitude and Intention
of Sustainable Luxury Fashion in China”

討論者：大原盛樹（龍谷大学）

2021年10月17日（日）午後 14:00～17:00

分科会3：中国の少子高齢化と所得格差

司会：牧野文夫（法政大学）

発表者

小松翔（東京大学大学院・学振研究員）

「農村電子商取引が出生率に与える影響：江蘇省の事例」

王威（法政大学大学院・院生）

「新型農村年金保険が中国農村高齢者の労働参加に与える影響」

討論者：村上直樹（日本大学）

司会：馬欣欣（法政大学）

詹鵬（浙江大学）・馬欣欣（法政大学）

「労働移動、人口高齢化と中国の所得格差」

張誠（汕頭大学）・唐成（中央大学）

「家計債務は離婚行動に影響を与えるのか：中国のミクロデータに基づいた分析」

討論者：戴二彪（アジア成長研究所）

2021年10月17日（日）午後 14:00～15:40

自由論題2：中国の研究開発とイノベーション

司会：三竝康平（帝京大学）

発表者1：劉曙麗（山梨学院大学）・李春霞（環日本海経済研究所）

「経営陣の研究開発参加とイノベーションに関する実証分析：中国創業
版上場企業の特許データと経営陣のデータの接合による検証」

討論者：張紅詠（RIETI 経済産業研究所）

発表者2：阮玉玲（復旦大学 PD）

「深圳における創業ボード上場企業の研究開発活動の効率性分析：包絡
分析法を用いて」

討論者：李春霞（環日本海経済研究所）

以上